

施策マネジメントシート(平成26年度の振り返り、総括)

作成日 平成 27 年 7 月 9 日

基本目標	II	豊かな自然と共生するまち	主管課	名称	生活水道課
				課長	高橋 孝一
施策	19	循環型社会づくりの推進	関係課		

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名	対象	意図		
	①町民 ②一般廃棄物			①ごみを適正に処理し、ごみの減量と資源化を積極的に行う。 ②適正に処理される。	1	ごみの減量の推進	町民	ごみの量を減らす。
					2	ごみの資源化の推進	町民、一般廃棄物	分別を徹底し、適正に処理される。
					3			
					4			
					5			

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	ごみの減量へ向けて何らかの取り組みを行っている町民の割合	%	実績値 目標値	86.3 87.0	85.8 87.0	87.9 87.6	87.5 88.2		88.8 89.4
B	町民1人1日あたりのごみ排出量(事業系ごみ/生活系ごみ)	g	実績値 目標値	269/627 250/625	255/631 250/625	262/637 250/614	250/603	250/592	250/581	250/570
C	ごみの資源化率(リサイクル率)	%	実績値 目標値	59.7 60.5	59.0 60.5	59.3 61.0	61.5 62.0		62.5 62.5	63.0
D	直接資源化できるごみの割合	%	実績値 目標値	12.2 14.5	12.5 14.5	11.3 15.0	15.5 15.5	16.0	16.5	17.0
E			実績値 目標値							
F			実績値 目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法

A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されているといえるため成果指標とした。
町民アンケートにより把握
※あなたは日頃、意識的にごみの減量に取り組んでいますか。→「特に取り組んでいない」と回答しなかった人の割合
B) 数値が低ければ、町民がごみの減量を積極的に行っていると考えられるため成果指標とした。
一般廃棄物処理実態調査による(前年度分が翌年3月に公表)
C) 数値が高まれば、町民がごみの資源化を積極的に行っていると考えられるため成果指標とした。
一般廃棄物処理実態調査による(前年度分が翌年3月に公表)
※リサイクル率(%) = (直接資源化量 + 中間処理後再生利用量 + 集団回収量) ÷ (ごみの総処理量 + 集団回収量)
D) 数値が高まれば、町民のごみ分別意識が高まり、資源化が推進すると考え成果指標とした。
一般廃棄物処理実態調査による(前年度分が翌年3月に公表)

目標値設定の考え方

A) 現状でも高い割合にあり、それほど上昇するとは考えられない。目標としては、平成29年度に90%とした。
B) 事業系ごみについて260グラム前後で推移しており、生活系ごみについては、毎年減量すると想定
【国平均:279g/697g(H22)、県平均:269g/808g(H22)】
C) 現状でも高い水準であるが資源化量を増加させ、平成29年度63%をめざす。【国平均:20.8%(H22)、県平均:14.8%(H22)】
D) 平成24年度より衣類の直接資源化が始まり、また集団回収についても平成25年度36t から平成26年度59tと直接資源化が上昇した。これも町民の意識の高まりなどにより分別の推進が予想されることから、毎年度0.5ポイント程度の増加を見込む。平成22年度の昭和村24.5%、川場村20.0%、沼田市15.5%などの数値を参考に、中期的には20.0%程度の数値を目指したいが、平成29年度には17.0%をめざす。【国平均:10.8%(H22)、県平均:9.1%(H22)、利根沼田平均:15.5%(H22)】

施策のための目的・役割分担	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①ごみの出し方のルールを守り、きちんと分別するなど、ごみの減量化・資源化に取り組む。	①ごみの減量や資源化、適正処理のための周知・啓発を行う。 ②ごみを適正に収集・処理する。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	①人口減少により、ごみの総排出量は減少している。一方で交流人口の増加により、町民1人1日当たりの排出量は微増している。 ②アメニティパークの稼働開始から17年が経過しており、施設の老朽化が進んでいる。施設の性能水準の回復と長寿命化するための点検整備をしなければならぬ。	①可燃ごみ袋が高いという声がある。 ②資源ごみの出し方を袋に入れるのではなくコンテナ回収してほしい。 町民アンケートによると、自由記述欄には、ごみ袋の値下げや粗大ごみ及び古着の回収を求める意見が寄せられている。

施策	19	循環型社会づくりの推進	主管課	名称	生活水道課
				課長	高橋 孝一

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	<p>①ごみの減量へ向けて何らかの取り組みを行っている町民の割合は、平成24年度85.8%、平成25年度87.9%、平成26年度87.5%と0.4ポイント下回った。</p> <p>②町民1人1日あたりのごみ排出量(事業系+生活系)は、平成23年度896g、平成24年度886g、平成25年度899gとなり前年度から13g増加している。観光宿泊数3万人の増加が影響しているが、総排出量は減少している。</p> <p>③ごみの資源化率(リサイクル率)は、平成23年度59.7%、平成24年度59.0%、平成25年度59.3%となり前年度から0.3ポイント増えている。施設の特長として、ゴミを焼却せず固形燃料とし、リサイクルしている為リサイクル率が高い水準である。</p>
		<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	<p>①内閣府の「環境問題に関する世論調査(平成24年8月調査)」によると、全国的には、「マイバック」59.1%(町53.6%)、「店頭回収」58.8%(町30.9%)、「生ごみの堆肥化」18.9%(町30.4%)、「使い捨て商品の利用を抑える」28.1%(町18.1%)、「不用品をリサイクルショップに出す」22.6%(町22.9%)となっている。マイバック利用者の増加は、大型スーパーのレジ袋が有料となったことが要因と考えられる。(H26町民アンケート)</p> <p>②町民1人1日あたりのごみ排出量は、平成25年度899gで県下35自治体中11位であった。平成25年度の近隣市町村の1人1日あたりのごみ排出量は、昭和村649g(4位)、川場村794g(9位)、沼田市1,114g(25位)、片品村1,395g(34位)</p> <p>③リサイクル率は、平成23年度は59.7%、平成24年度は59.0%、平成25年度59.3%で県下35自治体中2位であった。平成25年度の近隣市町村のリサイクル率は、昭和村19.7%(10位)、沼田市19.6%(11位)、川場村18.3%(12位)、片品村10.0%(27位)</p>
		<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	<p>①ごみの減量に向けて何らかの取り組みを行っている町民の割合は、目標値88.2%に対し実績値87.9%となり、0.3ポイント下回った。H26アンケート結果では、上位4項目は【マイバックを利用する】62.5%、【雑がみ(不要なパンフレット・包装紙)】54.0%、【飲料用バックや食品トレイなどを店頭回収】32.9%、【生ごみを肥料化する】30.1%であった。</p> <p>②町民1人1日あたりのごみ排出量は、事業系ごみが目標値250gに対して262g、生活系ごみが目標値614gに対し637gとなり目標値を下回った。</p> <p>③リサイクル率の目標値61.0%に対し実績値は59.3%となり1.7ポイント下回った。</p> <p>④直接資源化できるごみの割合は、目標値15.0%に対し3.7ポイント下回った。</p>
成果実績に対しての取り組みの総括	<p>①資源集団回収は、平成24年度(8団体)36t、平成25年度(9団体)36t、平成26年度(14団体)59tであり、これは、直接搬入の町民に対して、集団回収の取り組みや意識・知識を周知した結果であるといえる。</p> <p>②生ごみを家庭で処理することで、ごみの排出量やアメニティでのごみ処理経費を抑えるために生ごみ処理機、生ごみ処理容器の設置補助制度を制定し総排出量を抑えるように努めている。広報・回覧等により平成25年度61台、平成26年度68台と補助金制度の利用が増えている。</p> <p>③施設の安定的な維持管理のため、性能水準の回復と長寿命化するための固形燃料化施設補修工事・し尿処理施設の水槽の防蝕補修工事等を実施している。</p> <p>④資源化率を高くするため、平成26年度74tの衣類を直接資源化(再利用)した。</p> <p>⑤ごみ収集運搬委託業務の全面委託等を計画して平成26年度4月より実施している。又、し尿処理施設では、保守管理業務をすべてを委託できた。</p> <p>⑥さらに平成27年4月からは、リサイクル施設を固形燃料化施設の保守管理委託を行っている業者に運転委託の運びとなった。</p>		

今後の課題と取り組み方針(案)	基本事業名	今後の課題	平成28年度の取り組み方針(案)
	1 ごみの減量の推進	町民のごみ減量の意識を向上する必要がある。	ごみの正しい分け方・分別の重要性をわかりやすく掲載した分別表を新たに作成し、各家庭に配布することで、ごみの減量に対する意識の向上を図る。
	2 ごみの資源化の推進	使用済み小型電子機器再資源化の促進に関する法律が施行されたことにより、新たに小型家電の資源化を進めるための取り組みが課題である。 町民の要望により、古着回収の取り組みが課題である。	小型家電の中に含まれる貴重な資源が再生され電化製品などの原材料として利用されていることを町民の方にPRし、町として積極的に小型家電の回収に取り組む体制を構築する。 平成27年後期で開始して平成28年度に古着を回収することを定着化して資源化率を向上させる。
	3		
4			

19 循環型社会づくりの推進

19-02-000001 生ごみ処理容器等購入補助金交付事業				担当組織 総務課 環境政策グループ			事業費 850,200円								
予算科目 会計 一般会計 款 4衛生費				項 2清掃費		目 1清掃総務費									
事業概要	手段と実績	広報および回覧で電気式生ごみ処理機、生ごみ処理容器、水切りバケツを斡旋。広報・回覧による補助金制度の周知。 電気式生ごみ処理機 平成25年度 平成26年度 単位 購入補助台数 15 22 台			対象	町内の世帯			意図	生ごみの自家処理、または堆肥化を行うことにより、生ごみ処理施設への負担を軽減する。ごみ資源化を促す。					
	世帯数	平成25年度	平成26年度	単位		可燃ごみの搬入量 (公共施設状況調査)				平成25年度	平成26年度	単位	5,086 4,904 t		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		コスト 削減 維持 増加 向上 維持 低下	
	全体総括	例年同様に広報や回覧を通じて事業を展開した。プラ製処理容器は消耗品であり、買い替えが起きるため年度毎の助成数にバラツキはあるが、概ね横ばいであったが、電気式処理機は斡旋や展示会が町内で開催されるなど活発なPR実施から増加した。各種処理容器が購入されることは生ごみの減量化・資源化に有効であるので、引き続き普及に努力したい。			今後の改革改善案	処理容器の使用時期を踏まえ、年度当初に斡旋販売を実施しながら、併せて年間を通じて助成制度を利用することができることを周知したい。			課題とその解決策	電動式処理機の斡旋販売について、参加業者ごとに異なる価格にならぬよう、趣旨内容の説明を十分にしながら、5月中に事業を実施する。					

19-02-000002 塵芥収集事業				担当組織 生活水道課 奥利根アメニティパークグループ			事業費 96,075,718円								
予算科目 会計 一般会計 款 4衛生費				項 2清掃費		目 2塵芥処理費									
事業概要	手段と実績	1.ごみ関係請求業務 2.ごみ集塵箱の作成及び設置 3.ごみ収集委託事務 4.ごみ関係統計事務 5.ごみ搬入受け付け事務 6.警察への捜査協力事務 7.収集運搬許可及び浄化槽清掃許可事務 8.ごみ指定袋契約管理事務 9.収集車輛維持管理業務 10.臨時職員管理業務 平成25年度 平成26年度 単位 ごみ集塵箱作成数 0 11 個			対象	町民や町内事業所のごみ			意図	1.町民及び町内事業所から出るごみの分別を向上させ、計画的にスムーズに収集・運搬すること。					
	町民及び町内事業所からのごみの排出量	平成25年度	平成26年度	単位		ごみ収集車交通事故件数				平成25年度	平成26年度	単位	6,902 6,676 t 0 0 件		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		コスト 削減 維持 増加 向上 維持 低下	
	全体総括	住民に対するごみの分別の向上の広報については、今後も続けていきたい。			今後の改革改善案	①ごみ分別向上に努める。②可燃ごみに含まれる紙の混入率を下げる。③生ごみ処理機・コンポストの購入の推進。④ごみ集塵箱の購入価格を下げる。⑤ごみ収集委託料の見直し。			課題とその解決策	①ごみ袋指定店に協力を得て、分別の注意表を配付してもらったり、受付窓口で配付する。②③ ①と共に広報紙や受付窓口で配付する。④入札や見積もり合わせを実施する。⑤他の市町村の動向を見ながら検討する。					

19-02-000003 資源集団回収奨励金交付事業				担当組織 生活水道課 奥利根アメニティパークグループ			事業費 472,880円								
予算科目 会計 一般会計 款 4衛生費				項 2清掃費		目 2塵芥処理費									
事業概要	手段と実績	回収団体の登録・奨励金交付事務、搬入時の計量証明書発行・記録管理。広報・回覧及び町民体育祭等の会場で設置するごみステーションでのPR活動。 平成25年度 平成26年度 単位 登録団体数 9 14 団体			対象	行政区、老人クラブ、婦人会、育成会等の町民で組織されている営利を目的としない団体。			意図	ごみが資源となりリサイクルが行われ、ごみの減量化、地球温暖化の防止につながり、地域のコミュニティづくりも図れる。					
	行政区数	平成25年度	平成26年度	単位		対象物の町の回収量				平成25年度	平成26年度	単位	59 59 区 886,680 858,160 kg		
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化	<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		コスト 削減 維持 増加 向上 維持 低下	
	全体総括	平成23年度事業開始から3年が経過し、当初5団体から8・9団体と登録数が微増していたが、今年度に入り5団体新規登録があり、現在14団体が活動を行っている。徐々にではあるがPR活動の成果が出てきている。また、回収量については団体により偏っているが、活動量の少ない団体は更なる努力をお願いしていきたい。今後とも町内の各種団体に新規登録してもらえよう周知に努めたい。			今後の改革改善案	事業のPR活動の一環として、町の行事でごみ分別ステーションを設置する会場でチラシなどを配布して周知する。また、活動量の少ない団体に対して回収量を増やしてもらえよう促していきたい。			課題とその解決策	PR活動等での事業が住民に概ね周知されていることから、参加意思があれば集団回収自体は難しい事業ではないので特に解決すべき課題はない。					

19 循環型社会づくりの推進

19-02-000004 奥利根アメニティパーク施設管理事業		担当組織 生活水道課 奥利根アメニティパークグループ	事業費 66,352,046 円	
予算科目 会計 一般会計 款 4衛生費		項 2清掃費	目 3奥利根アメニティパーク管理費	
事業概要	手段と実績 アメニティパークの総合的な管理運営(管理施設数は4施設あるが、約8割消費するRDF施設を指標とする)	対象 町内から発生する一般廃棄物	意図 一般廃棄物を適正処理に係わるエネルギー使用量を軽減する	
	管理施設数		平成25年度 平成26年度 単位	ごみ搬入量(可燃ごみ)
評価結果と今後の方向性		<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下
全体総括	事業費の8割を占める電気量の基本契約及び使用量の合理化を推進している。しかし、施設設備機械の運転には最低限度の電力量がかかるので、今後削減率は構造的な削減とならざるを得ない。さらには電気料金値上がりにより事業費が年々上がってしまう。このことを鑑み単なる運転時間削減だけでなく、有効性・効率性の効果を出すには多角的な考察が必要である	今後の改革改善案 ①各施設主要設備ごとの節電検討②設備の改造、延命化工事による節電③ごみ搬入量減少に伴う運転時間等の見直しにより、委託料削減・電気使用量等経常経費の削減	課題とその解決策 機械設備の性能を当初の能力に回復するにはコストがかかる	

19-02-000005 燃やせるごみ固形燃料(RDF)化事業		担当組織 生活水道課 奥利根アメニティパークグループ	事業費 262,379,520 円	
予算科目 会計 一般会計 款 4衛生費		項 2清掃費	目 3奥利根アメニティパーク管理費	
事業概要	手段と実績 固形燃料化施設が正常に良好に稼働できるよう日々の保守管理の状況把握。工事施工箇所の老朽化の確認、適切な工事のための施工管理、検査、支払いなど。	対象 町民・来訪者(一般家庭よりの可燃ごみ及び事業所・宿泊施設等からの可燃ごみ)	意図 日常生活の中で排出される可燃ごみを収集・処理すること、並びに粗大ごみ等の直接搬入を受け入れ処理、処分する事で町民の最低限の環境衛生を維持する。	
	年間の保守管理に要した金額		平成25年度 平成26年度 単位	一般搬入の受け入れ日数
評価結果と今後の方向性		<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下
全体総括	循環型社会において廃棄物処理は固形燃料の生成という形で目的は達成している。成果の向上及び事業費の削減を含め、ザツ紙のリサイクルを全町民に協力依頼しわずらわしくなくともゴミの減量を目指していく。	今後の改革改善案 ザツ紙を可燃ごみから分別しごみを減量するために、アメニティパーク窓口での協力依頼。ごみ袋取扱店での協力依頼を繰り返す事により、住民のリサイクル意識を高める。ゴミ減量の成果と共に施設の保守管理委託料の適正な費用負担を算定する。	課題とその解決策 住民一人一人のリサイクル意識を高めるための努力と住民の理解。	

19-02-000006 資源ごみ等リサイクル事業		担当組織 生活水道課 奥利根アメニティパークグループ	事業費 43,582,821 円	
予算科目 会計 一般会計 款 4衛生費		項 2清掃費	目 3奥利根アメニティパーク管理費	
事業概要	手段と実績 1粗大ゴミ処理 2カン処理 3ビン処理 4ペットボトル処理	対象 住民から搬入された粗大ゴミ、資源ゴミ	意図 搬入されたゴミの適切な処理	
	粗大ゴミ処理量		平成25年度 平成26年度 単位	搬入量 ペット含む
評価結果と今後の方向性		<input type="checkbox"/> 廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下
全体総括	来場住民に対して施設内でゴミの分別をお願いした結果、削減することが、ある程度できた。	今後の改革改善案 平成25年度同様、可燃残渣の削減をすることに加えさらなぬ衣類としての有価物売却に勤める	課題とその解決策 施設の延命化工事をはかり適切な処理をしていく。	

19 循環型社会づくりの推進

19-02-000007		担当組織		生活水道課 奥利根アメニティパークグループ		事業費		68,946,041円	
し尿・浄化槽汚泥処理事業		予算科目		会計 一般会計		款 4衛生費		項 2清掃費	
目 3奥利根アメニティパーク管理費									
事業概要	手段と実績	町民の家庭で発生する、し尿・浄化槽汚泥をし尿処理施設にて適切な処理水にするため(各種機器・計装機器・水質検査)の維持管理する。		対象		し尿・浄化槽汚泥		意図	
	し尿処理施設(電気量)	平成25年度	平成26年度	単位	搬入量(し尿)	平成25年度	平成26年度	単位	し尿処理施設を適切に維持管理する。
評価結果と今後の方向性		廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		今後の改革改善案 今年度からの完全民営化なので、まだ正職員が携わる業務があるが、委託内容を年々見直し、合理化することで事業費の削減を図る。		今後の改革改善案 H27年度からは、施設維持用薬品・消耗品等の発注、納入、在庫管理等の業務も保守管理業務に入れて委託し正職員の従事時間を減らす方向である。		課題とその解決策 施設稼働から15年以上経過しているため設備機器が老朽化し、これらの延命化修繕若しくは更新工事に経費がかかってくる。中長期整備計画により各年度に経費分散する。	

19-02-000008		担当組織		総務課 環境政策室グループ		事業費		24,000円	
旧衛生センター管理事業		予算科目		会計 一般会計		款 4衛生費		項 1保健衛生費	
目 5環境衛生費									
事業概要	手段と実績	ア 解体工事イ 点検業務		対象		ア 対象施設イ 周辺住民(後閑区、真政区)		意図	
	解体に伴う地元説明会の開催数	平成25年度	平成26年度	単位	施設	平成25年度	平成26年度	単位	ア 施設の解体数イ 周辺住民の不安解消
評価結果と今後の方向性		廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		今後の改革改善案 平成16年の事務所等の解体以後、手が着かない状態であったが、中央管理棟、し尿処理施設、工作室を平成22年度に解体し、今年度は最後に残っていたごみ焼却施設解体に着手できた。工期延長したためH27.5.25完了の予定である。		今後の改革改善案 防災広場等多目的広場としての維持管理の検討。		課題とその解決策 旧衛生センター管理事業は終了するため、次の目的に係る担当課へ事業を移す必要がある。	

19-02-000010		担当組織		総務課 環境政策グループ		事業費		124,916,680円	
旧衛生センター解体・撤去事業		予算科目		会計 一般会計		款 4衛生費		項 1保健衛生費	
目 5環境衛生費									
事業概要	手段と実績	ア・解体工事(ごみ処理施設)イ 点検業務		対象		ア 対象施設イ 周辺住民(後閑区、真政区)		意図	
	解体に伴う地元説明会の開催数	平成25年度	平成26年度	単位	施設	平成25年度	平成26年度	単位	ア 施設の解体数イ 周辺住民の不安解消
評価結果と今後の方向性		廃止・休止等 <input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 意図の見直し <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		今後の改革改善案 平成16年の事務所等の解体以後、手が着かない状態であったが、中央管理棟、し尿処理施設、工作室を平成22年度に解体し、今年度は最後に残っていたごみ焼却施設解体に着手できた。工期延長したためH27.5.25完了の予定である。		今後の改革改善案 防災広場等多目的広場としての維持管理の検討。		課題とその解決策 旧衛生センター管理事業は終了するため、次の目的に係る担当課へ事業を移す必要がある。	

19 循環型社会づくりの推進

19-02-000011 小仁田ストックヤード管理運営事業				担当組織	生活水道課 アメニティパーク			事業費	円				
予算科目				会計				款					
項目							目						
事業概要	手段と実績	有価物引取			対象	有価物(段ボール・紙パック・新聞紙・雑誌)			意図	有価物の売却(段ボール・紙パック・新聞紙・雑誌)			
		有価物の引取回数	平成25年度	平成26年度		単位	有価物の種類	平成25年度		平成26年度	単位	有価物の売却量	平成25年度
				12	回			4	種			200	トン
評価結果と今後の方向性	廃止・休止等 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 規模縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 対象の見直し <input type="checkbox"/> 意図の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 活動量増大→成果向上 <input type="checkbox"/> やり方改善→成果向上 <input type="checkbox"/> 成果維持→活動量削減 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> やり方改善→事業費削減 <input type="checkbox"/> やり方改善→時間削減 <input type="checkbox"/> 民間委託・分担変更		<input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下		
	全体総括 ほぼ基本料金の光熱水費により、有価物売却収益が上がるので有益な事務事業である。		今後の改革改善案 現状維持		課題とその解決策 アメニティパークから遠距離にあるため常時監視できず、保安面等で課題が残る。								